

新年の思いを乗せて書き初めをしました。

全学年が、1月9日(木)に新年試筆(書き初め)を行いました。冬休みの期間中に、家庭で取り組んだ課題に挑戦しました。1年生は「スイミー」という物語の一節を、2年生は「お手紙」という文章を硬筆で書きました。3年生は「正月」、4年生は「平和」、5年生は「出発」、6年生は「希望」という2文字の漢字を毛筆で書きました。どの子ども気持ちも落ち着けて、集中して鉛筆や筆を動かしていました。

子どもたち個々が書いた中から、学年で作品を1点選び「三泗小中学校書写展覧会」に出品しました。

子どもたちの作品は「校内書写展」としても、1月20日(月)から24日(金)まで、管理棟2階 理科室、家庭科室前廊下に掲示します。1月23日(木)の授業公開時には、子どもたちの力作をぜひご覧ください。

不審者侵入の対応訓練を行いました。

1月10日(金)放課後に「不審者侵入の対応訓練」を行いました。「不審者が体育館通路から入り、1階2Aの教室に侵入し、包丁で児童1人にけがを負わせる」という想定で訓練を行いました。不審者役の教員が、児童役の教員に厚紙で作成した包丁を持って近づき、実際に起こるだろう場面を想定して、実践訓練を行いました。まず、職員室で、不審者が侵入した場合の児童の安全確保や職員間の動き、連絡、報告の体制について確認をし、実際に場所を移して実践をしました。

事後の振り返りでは、「現在、さすまたが置いてある場所が、それでいいのかを一度検討してみてもどうか」「侵入者が他の教室へと入ってこないようにするためにどうしたらいいか⇒鍵のかけられない教室については、机やイスを使ってバリケードを作る」「武器として催涙スプレーを用意しておくことが大切」等の意見が出されました。児童に危害を加えそうな侵入者から児童をどう守るかについても意見を交わしました。

交通安全・あいさつキャンペーンが行われました。

1月14日(火)の朝、「交通安全・あいさつ運動キャンペーン」が行われました。保護者や地域住民の皆様、地区市民センター職員の方々、派出所のおまわりさんなど、水沢地区に関わる皆様で、子どもたちの登校を見守っていただきました。朝の寒い中、忙しい時間帯に、子どもたちの登校の様子を見守っていただき、本当にありがとうございました。改めて地域の皆様に、子どもたち一人ひとりが大切にされていることを実感することのできる時間となりました。

私は、毎日、学校南東にある横断歩道に立って子どもたちの様子を見てきました。初秋から年末にかけては、「あいさつが少しずつできるようになってきたなあ」と喜んでいたのですが、3学期が始まると「なかなか子どもたちがあいさつを返してくれない」という声が保護者や地域の皆様から寄せられるようになってきました。特に朝、水沢本町の公会所(児童が行われている場所)近くの三叉路(さんさろ)で、派出所のおまわりさんが子どもたちに向かってあいさつをしているのに、何の反応もせず、知らん顔をして通り過ぎていく子どもたちが多くいるようです。とても残念に感じています。

3学期の始業式場で、「あいさつをしっかりとしよう」という話を子どもたちにしました。人と人との1日の出会いは、朝の「おはようございます」のあいさつから始まります。あいさつは、人と人の心をつなぐキャッチボールです。「おはようございます」「こんにちは」と、子どもたちが笑顔で元気よくあいさつを交わすと、そこにいる周りの人たちはみんな元気になります。すがすがしい1日のスタートがきれるように、元気よく声を出して、しっかりと保護者や地域住民の皆様、先生たちに「おはようございます」のあいさつをしてほしいと思います。また、朝のあいさつだけではなく、帰り道の「さようなら」「こんにちは」のあいさつも大事にしてほしいと思います。本日から、しっかりとできるように意識をしていきましょう。

学校でも、お昼の放送や全校集会の場を使って、子どもたちにあいさつの大切さを語りかけていきたいと思っています。ご家庭でも今一度、あいさつがどうして大切なのかを、子どもと一緒に振り返っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

(文責 北住 昌文)

